横　浜　市　記　者　発　表　資　料

明日をひらく都市
OPEN×PIONEER
YOKOHAMA

令　和　８　年　６　月　１８　日
資源循環局家庭系廃棄物対策部
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局脱炭素社会移行推進部

横浜市といすゞ自動車株式会社はバッテリー交換式ＥＶごみ収集車を横浜市内のごみの収集作業で運用する実証実験を開始します

～ごみ収集車で国内初の左右両側に搭載したバッテリーの同時交換を実現～

横浜市といすゞ自動車株式会社（以下「いすゞ」）は、ごみ収集車として国内初となる、車両の左右両側から同時にバッテリー交換可能なＥＶごみ収集車及びバッテリー交換ステーションを市内のごみ収集作業において運用する実証実験を、令和８年６月より開始します。

いすゞとの
連携協定取組
第３弾

1　概要

令和５年 10 月に、横浜市といすゞは「横浜市内の商用車部門におけるカーボンニュートラルの実現に向けた連携協定」を締結しており、本協定に基づく取組の一つとして、バッテリーを左右両側に搭載および同時に交換できるＥＶごみ収集車２台を実際の収集作業に使用し、運用面の効果を検証します。

ＥＶごみ収集車（実証実験用）

バッテリー交換ステーション

■実験概要

実証期間（予定）	令和８年６月～令和 10 年３月
車両台数	２台
車両用途	市内家庭ごみの収集、運搬
バッテリー交換ステーション設置場所	資源循環局神奈川事務所（住所：神奈川区千若町３－１－43）
実証エリア	横浜市内（主に神奈川区内）
主な役割	横浜市：実証実験のフィールド提供、ＥＶごみ収集車でのごみ収集業務、実証データの提供、運用上の課題の抽出 いすゞ：車両とステーションの開発・設置・管理、実証実験プロジェクト管理、事業性・脱炭素効果検証

裏面あり

GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN
2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

2　ごみ収集車のＥＶ化

市内最大級の温室効果ガス排出事業者である横浜市役所では、令和５年１月に「横浜市地球温暖化対策実行計画（市役所編）」を策定し、CO_2削減に向けた様々な取組を進めています。

横浜市内における令和５年度のCO_2排出量の約２割が運輸部門から排出されており、このうち約４割が貨物・営業用自動車（≒商用車）から排出されています。

そのため、ごみ収集車を始めとした商用車のＥＶ化の取組の推進が求められています。

本実証実験は、ＥＶ化が難しいとされるごみ収集車の課題解決に向けたトライとなります。

○ ごみ収集車の特徴

稼働率が高い

小刻みに停発進する

用途に応じた架装が必要

○ ごみ収集車のＥＶ化の課題

・ 架装部（ごみの積込部）を動かす動力も必要なため、走行目的に加えての電力の確保が必要
・ 日々の収集作業を止めないように短時間での充電完了が必要

3　いすゞ自動車株式会社について

いすゞは、車両の使用用途や運行特性に応じた最適なカーボンニュートラルソリューションの提供を推進しています。本実証で使用する「バッテリー交換式エルフＥＶごみ収集車」は、従来の固定式ＥＶと比べてダウンタイム(車両の停止時間)が大幅に短縮され、ごみ収集車のＥＶ化に貢献します。

バッテリー交換ステーション説明動画

ＵＲＬ　https://youtu.be/s7JB_ylqehA?si=CmfxMMKnlbvVYJlY　　二次元コード

4　実証実験開始に伴う現地お披露目会

市長挨拶

記念撮影

※写真のデータをご希望の方は、問合せ先（車両課長）までご連絡ください。

お問合せ先				
（実証実験の車両について）	資源循環局	車両課長	濱崎	Tel 045-441-8201
（実証実験の車両の運用について）	資源循環局	業務課長	石川	Tel 045-671-2532
（横浜市の脱炭素について）	脱炭素・GREEN×EXPO推進局	循環型社会推進課長	松下	Tel 045-671-2636

GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN
2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷